

ナノテクノロジー・材料科学技術委員会における第 1 2 期の活動について
(案)

令和 5 年 8 月 23 日
研究計画・評価分科会
ナノテクノロジー・材料科学技術委員会

○第 6 期科学技術・イノベーション基本計画に対応する取組について

(1) 各部会・委員会に関する研究及び開発等に関するもの

今期のナノテクノロジー・材料科学技術委員会においては、第 6 期科学技術・イノベーション基本計画及びマテリアル革新力強化戦略等を踏まえた文部科学省としての今後のナノテクノロジー・材料科学技術分野の研究及び開発に関する計画の検討を行うとともに、

- ・ 「材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業」、 「マテリアル先端リサーチインフラ」 及び 「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト」 の中間評価
 - ・ 新規・拡充事業の事前評価 (必要に応じて)
- などについて審議を行う予定。

(2) 自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」の融合である「総合知」の創出・活用に向けたもの

マテリアル革新力強化戦略では、我が国が最大限注力することとしている「デジタル社会の実現」と「グリーン社会の実現」について革新的なイノベーションをもたらすマテリアルが不可欠であり、必須であるとされており、様々な社会課題の解決の基盤技術となるマテリアルに対する期待は大きい。

また、同戦略ではこれらの社会課題の解決に必要となるイノベーションの創出に向け、バックキャスト型の研究に取り組むとされている。この重要な技術領域を特定する上では、社会的ニーズ等を踏まえた俯瞰的な視野で物事を捉える必要があり、その際には人文・社会科学も含めた「総合知」の活用も重要であることを踏まえて、今期に議論するナノテクノロジー・材料科学技術分野の研究及び開発に関する計画の検討にあたっては、「総合知」の活用に留意することとする。

○今後、分科会で議論することを期待する論点について

((記載注) なくても構わない)